



# 市民に役立つ 議会へ改革を!! ～定数削減・審議時短では 市民の声は届かない！～

日本共産党  
岡山市政ニュース

憲法は「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として議会を設置する」と定めています。議論をつくして市民の声を地方政治に反映させることが議会

**議会は  
多様な意見が  
議論されてこそ!!**

4町合併前に議員定数は一  
〇八名でしたが、合併前に比  
べて半数になっています。定  
数減は、ますます議会を市民  
から遠ざけることになります。

〇定数減は大組織有利、新人  
が必要。  
〇定数減は大組織有利、新人  
が出にくくなる。  
〇定数削減で議員の資質向上  
はできません。  
〇定数減は少数議員の権限独  
占につながる。

〇議会の様子を広く市民に知  
つてもう取り組みが先に  
必要。

6月定例市議会に、保守系  
会派などから、市議会定数削  
減の議案が出されました。我  
党市議団は以下の点で質疑を行  
いました。  
〇多様な意見・少数意見を届  
けるためには一定の人数が  
必要。

**議会改革は、市民  
参加保障がさき**

発行者  
日本共産党  
岡山市議会議員団  
岡山市北区大供1丁目1番1号  
(市議会内)  
〒700-8544 電話(086)803-1000  
2385  
河田永正光  
竹林田中の中のつよ  
東

No.248(通256)

議会は理想であるみんなでの話し合いの代わりです。政治決定を一人の君主や少数者が独占していた時代から、より多くの人々が平等に加わることができるようにしてきたのが、民主主義の発展の歴史ではないでしょうか。

（後略）

憲法は「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として議会を設置する」と定めています。議論をつくして市民の声を地方政治に反映させることが議会

け少數意見を聞くためにはある程度の議員数が必要です。定数を減らした他の市の議論を聞くと「政令市の平均を目標にした」「いろいろ出された数の間を取つた」などといふもので、民主主義の制度として市民の意見を聞くために必要な人数としての議論は行われていません。

正経理事件では、可決凍結とし、市民の税金が無駄に投入されないように条件を付けました。  
③政令市移行に当たって、政令市に移行する際の行政区画等審議会は現中区と東区を合わせた区を答申しました。委員数は全市で19人でした。

当初から「市民と日常的に接しているない委員に市民の声が伝わるか」と疑問の声がありました。実際、現在の中区の住民から異論が噴出しました。中区に相当する地域の13人の議員が市民の生活実感を反映させた今の中区を作るために頑張りました。

④百条委員会を設置し、レジヤー施設への税金投入の問題を追求し、チボリ公園を岡山市に作らせなかつたのは岡山市議会です。

②シルバー人材センターの不

市長提案に賛成するだけでなく、無駄を減らし市民の声を市政に反映させてきました。

①家庭ごみ収集有料化の際に市議会が徹底的に議論し

開催させ、その経過を通じて低所得者等への減免制度やごみ減量策を充実させました。

# 議会改革等推進会議始まる

**質問時間減らして  
海外視察は行くの!?**

し、少數意見として記載されました。

1番目の議題は、昨年、試行で11月議会の代表質問を止めた件について今年はどうするのか？と凍結されていた海外視察についての2点でした。

代表質問の必要性を議論し、年2回の代表質問は変更しないと、一致をしましたが、今年は改選後6月議会で代表質問を行つたので、すでに年2回しているとの理由で、11月議会は止めるという答申になりました。

我が党市議団は、改選時は例外であり、決算時期の代表質問は政策的に次年度に生かすために必要だと主張

議長の諮問機関として議会改革推進会議が設置され、①議会基本条例について、②議会制度等（一問1答制、市当局の反問権等）について

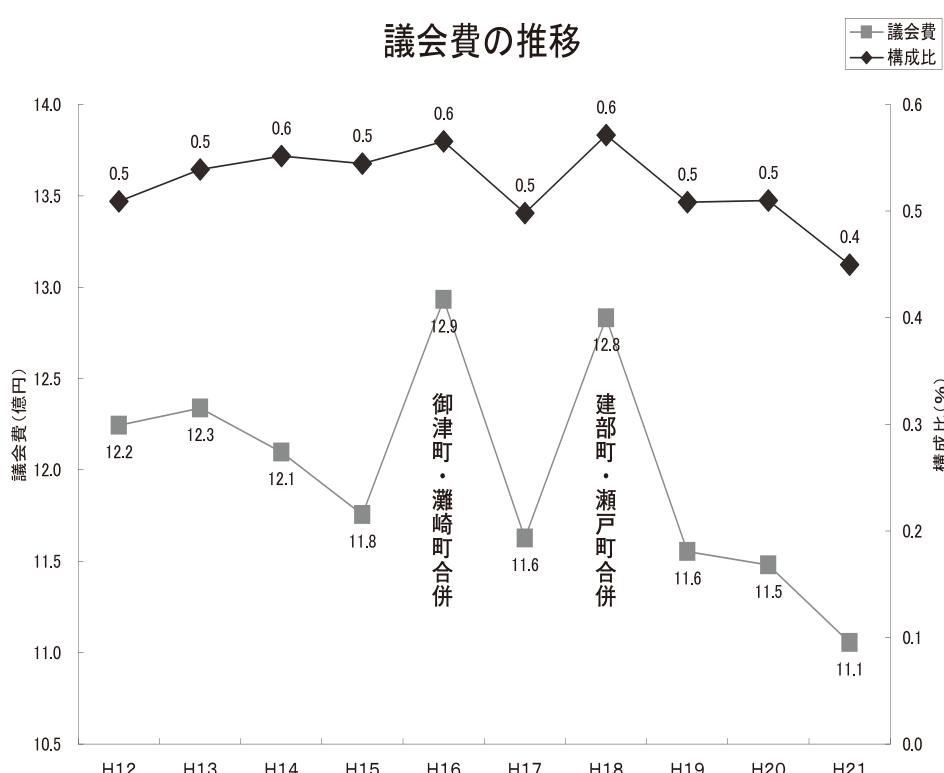
③議会報告会の開催等市民参加について、④インターネット中継等情報発信についてが、諮問され議論がはじまりました。

かう 時間短縮が議会改革なの

代表質問は年2回は必ず  
れないと一致をしましたが  
時間短縮で議会改革の結果  
をださないといけないと、  
代表質問のある議会は個人  
質問を1人30分から20分に  
減らすことが他会派の大多  
数の意見で答申されました  
「無駄な質問を減らすこ  
とができる」と主張する議  
員、自分たちのしていたこ  
とは無駄だったのか？滑稽  
な議論だと思います。

うなのに、海外視察は凍結解除するべき質問時間を減らして、観光旅行と批判された海外視察を凍結解除するの改革とはいえません。

党市議団は、決算を受け予算要望を含めて市政を質すための11月議会の代表質問はすべき、海外視察自体は有用な面があるが市民感情と財政状況を踏まえて議員の自己負担で行うべきと主張しています。



# 情報公開が力抜く ～市民のための議会へ～

定数削減と質向上は別問題です。

収賄で有罪になつた成  
本俊一前市議は全市でト  
ップ当選、選挙違反で起  
訴された太田武正市議は

東区で2位当選でした。6月議会に一日も出席しなかつた有井靖和市議は8期目です。定数を減らしても質が上がるとは限りません。

市民の目線です。

市民参加を明確にしたり  
議会の役割と議員の活動  
を市民に分かりやすくす

については条例で公開される  
前から自主的に一円から公  
開してきました。

情報公開のもとでは、市民に説明のできない使い方はできません。公開自体が

黒駄遣いを抑制する効果があります。今年2月議会では、党市議団は議員報酬削減、政務調査費削減などで

議員 8人分に相当する議会費削減を提案してきました

面の計算の仕組みを用いて、  
かりにチエックし、市民のため  
の提案をするために議会

貢を適正に使うことが求められます。

